

令和8年度  
Yサポ訪問園

(横浜市保育・教育質向上サポーター事業)

募集案内

Yサポを活用してみませんか？ (訪問希望)



詳細はこちら

Yサポ

- ・よこはま(YOKOHAMA)
- ・横からのサポート(YOKO)
- ・ワイワイ語り合う(YI)

募集期間：令和8年3月13日(金)から  
~~令和8年3月31日(火)まで~~  
令和8年4月10日(金)まで  
横浜市こども青少年局 保育・教育支援課

## (1) 「横浜市保育・教育質向上サポーター（Yサポ）事業」とは

保育・教育の質を向上する取組を推進するため、保育・教育施設等を訪問し、園内研修や公開保育等を通して、保育を伴走的に支援する人材（Yサポ）を育成する事業です。Yサポの活動を通し、地域の保育・教育施設同士が横のつながりを深め、相互に保育の質の向上を図ることを目的としています。

## (2) 「Yサポ」の活動

Yサポは保育の実践者として保育・教育施設等に訪問し、園の保育者の思いに寄り添い、お互いに学び合いながら、当該園の保育の質の向上に向けた取り組みを伴走支援します。

【訪問の回数】：訪問決定後、年度内に3回訪問します。

【訪問時の活動】：具体的な訪問日程や当日の活動時間、内容等はYサポと相談して決定してもらいますが概ね以下の通りです。

### Yサポ活動の一例

1回目	2回目	3日目
★保育見学（参加） 振り返り	★保育見学（参加） 振り返り	★保育見学（参加） 振り返り
写真や保育ウェブなどを活用		
★「どんなことに取り組もうか？」	★「取り組んでみてどうだった？」「次は何する？」	★「（ワクワク）保育って楽しい！」

### 【一日の活動例】

～9：30	～12：00	～13：00	～14：30	15：00
（訪問）	（保育見学・参加）	（昼休憩）	（振り返り※）	（終了）
※保育者同士の語り合い				

## (3) 募集園数 15園程度

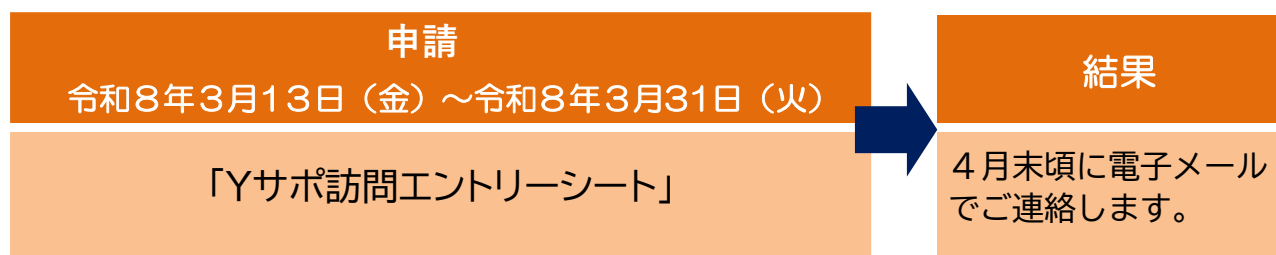
応募多数の場合は、申請書類をもとに選考します。

※書類の中で確認が必要な場合には、ご連絡させていただくことがあります。

※Yサポの活動を十分理解をしたうえで申請してください。

ご不明点があるときはお気軽にお問い合わせください。

## (4) 申請方法



※3月31日（火）までに以下の提出先へ電子メールでご提出ください。

### 【書類提出先】

横浜市こども青少年局 保育・教育支援課Yサポ担当  
メールアドレス：[kd-jinzai@city.yokohama.lg.jp](mailto:kd-jinzai@city.yokohama.lg.jp)

「メールの件名」は下記の表記をお願いいたします。

「【Yサポ】（施設名）エントリーシート提出」

### (参考) 「Yサポ」の育成及び活動

学識経験者の園訪問への随行を通じたファシリテーション等の知識、技術の習得（1年目）等経験年数に応じた育成や活動のほか、実践を振り返る研修会や情報を共有する連絡会への参加など、継続した学びの機会を通して、Yサポのスキルアップにつなげます。

### (参考) 認定の要件

次の①～③の要件を満たす者を認定します。

- ① 横浜市こども青少年局保育・教育施設向け職員等研修・研究における「往還型研修（※1）」のいずれかを修了していること。  
（ただし、保育実践者からの支援とするため施設長はYサポになれません。）
- ② 自園での園内研修、公開保育を自身が主となり実施した経験があること。
- ③ 他施設の園内研修、公開保育の支援等を行う資質があると施設長が認めるもの。

※1 「園内研修リーダー育成研修」（H28～）

「園内研修リーダーフォローアップ研修」（H30～）

「乳児保育実践研究（保育士等キャリアアップ研修・乳児保育分野）」（H29～）

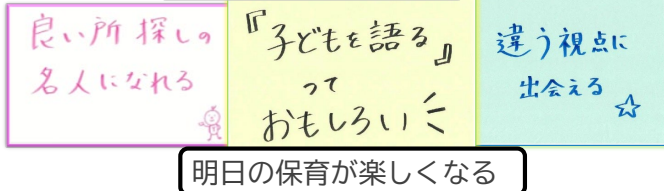
「幼児教育実践研究（保育士等キャリアアップ研修・幼児教育分野）」（H29～）

# Yサポがいることでの効果

## ① Yサポが訪問した園



## ② Yサポ自身



訪問園



学び合い  
支え合い

在籍園



## ③ Yサポ同士



## ④ Yサポの在籍園

☑ 訪問先で行われていた実践（綿の素材遊び）を、自園で他クラスの担任にも声をかけやってみる。  
その実践結果を再度、訪問先の保育者と共有。  
他園の保育を知り、新たな活気生まれる



## 訪問園からの声

- 新たな視点で保育やこどもの姿を伝えてくださり、語り合いがとても盛り上がりました。
- クラスの保育について語り合う機会をなかなか設けられていなかったのが、豊かに語り合うきっかけになりとてもありがたかったです。
- 職員が日頃当たり前だと思って行っている保育の良さを伝えていただくことで、自分たちの保育の良さに改めて気づくことができ自信につながりました。
- 保育やこどもの姿を語り合えたことで、私たちの明日の保育への意欲につながりました。

